

## 平成27年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	伊万里市立大川内小学校		
2 所在地	伊万里市大川内町甲3280番地1		
3 校長名	木原 敏也		
4 学級数 児童生徒数	8学級 99人	5 実施学年 児童生徒数	3年 16人

### 6 取組のねらい

様々な個性や違いを理解し、ひとりの人間として認め合う心を育てる。さらに、困っている人がいたら、進んで声をかけたり、手助けをしたりしようとする態度を育てる。

### 7 取組の実際

#### （1）伊万里特別支援学校との交流

本校では、毎年、伊万里特別支援学校の同学年と交流活動を行っている。交流活動3年目の3年生の児童は、本年度は次のような活動を行った。

#### ○ 自己紹介カードでの交流（5月）

特別支援学校小学部3年生には8名の児童が在籍しているので、本年度の交流相手を決め、お互いに自己紹介カードを作成して、交換をした。特別支援学校からの自己紹介カードは、児童がいつも見られる場所に掲示した。



#### ○ はってん祭への作品協力（9月）

10月11日に行われた伊万里特別支援学校はってん祭の飾りとして使用する「不思議な怪獣の絵」を図画工作の時間に描いて送った。

#### ○ 特別支援学校での交流活動（9月28日）

挨拶をした後、交流相手と一緒に、まず「不思議な怪獣の絵」をPPロープに付ける活動をした。次に、校内に作られていた遊具を使って一緒に遊んだ。最後に集合写真を撮って、挨拶をして小学校に戻った。





国語で手紙の書き方を学習していたので、次の日に交流活動を振り返り、交流相手に手紙を書いて送った。

○ 年賀状（12月）

図画工作の版画の学習で、年賀状作りを行った。その作品の一つを交流相手に版画の年賀状として送った。

（2）総合的な学習の時間での取り組み「福祉について考えよう」

11月から「福祉について考えよう」というテーマで総合的な学習の時間を使って、次のような学習を行った。

○ ユニバーサルデザインについての調べ学習

まず、シャンプーやリンスの容器を見せてUDを児童に知らせ、学校の中でUD探しを行った。（2時間）

次に、家庭の中や地域でUD探しを行った。（家庭学習）

最後に、インターネットでUDの施設や製品例を調べた。UDの意味や願いも知ることができた。（4時間）

○ 福祉体験活動

ユニバーサルデザインについての調べ学習を終えた後、4年生と一緒に福祉体験活動を行った。

① 視覚障害者誘導體験・アイマスク体験（2時間）

11月24日の午後に、社会福祉協議会と視覚障害者の会からそれぞれ1名の方が来てくださり、実施した。

まず、誘導の注意を聞き、2人組で誘導體験を行った。次に、アイマスクを着けて、聴覚を使う体験（ロジャンケン、音当てクイズ）を行った。それから、触覚を使う体験（筆箱から〇〇を取り出す、お金の見分け）を行った。最後に、視覚障害者の方から生活の様子や困っていることの話聞き、白杖を使って歩いたり、点字を読んだりする様子を見せていただいた。





視覚障害者誘導で目が見えないことの大変さが分かった児童にとって、自分たちにとって難しいことができる視覚障害者の方に驚いていた。



## ② 車椅子体験・福祉についての話（2時間）

11月31日の午後に、社会福祉協議会1名の方が来てくださり、実施した。

まず、車椅子の使い方を教えていただいた。そして、グループ内で交代しながら車椅子に乗る体験と車椅子で介助する体験をした。



車椅子体験の後に、福祉についての話をしていた。 「福祉とは、普通の暮らしができる幸せ。幸せは、一人ずつ違う。困っている人を見かけたら、まず声をかけてみよう。」などと教えていただいた。



## 8 取組の成果と課題

伊万里特別支援学校の児童と交流することで、様々な個性や違いを理解したり、同級生として遊んだり触れ合ったりすることができた。

UDの調べ学習を通して、多くの人にとっての使いやすさや幸せを考えることができていた。また、福祉体験学習を通して、体の不自由な人の大変さを実感でき、困っている人に対して進んで声をかけたり、手助けをしたりしようという気持ちが高まった。来年度の伊万里支援学校との交流活動では、今年以上に自分から進んで声をかけたり、進んで手助けしたりできるのではないかと思う。